2024 年度　JKA補助事業（障害者グループホームの建築）について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 ： 2026年1月30日（金）　　・提出先 ： p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp

≪2024年度JKA補助事業　自己評価書（2回目）　記入のしかた・記入例について≫

＊**青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

＊**水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

＊以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2024年度自己評価書（2回目）　様式・記入例　↓

整理番号	2024P-	150	補助事業者名	社会福祉法人〇〇〇会	補助事業名	障害者グループホームの建築

2024年度　JKA補助事業　自己評価書（2回目）

作成年月日	2026	年	1	月	25	日	作成者	競輪　太郎

1. JKA補助　建築について（2024年度補助事業で整備された障害者グループホームについてご記入ください。）

施設の種類	障害者グループホーム		
建築施設名	グループホーム〇〇〇	構造	鉄筋コンクリート造2階建て
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延べ面積	321.54 ㎡
建築した施設の形態	○ 法人にとって初のグループホーム　○ 既存障害者グループホームの老朽化のため建て替え　◉ 複数棟目のグループホーム		
建築した施設の特長	女性専用のグループホームであり、よりプライバシーに配慮したグループホームとなった。 掃除、洗濯、入浴、食事を暮らしながら学べる施設であり、またユニット形式を採用し、1階、2階にそれぞれ居間、食堂、台所、洗面所、浴室、洗濯コーナー、シャワー室、トイレを完備し、利用者が安心して生活を送れる施設である。		

利用開始日	2025	年	4	月	1	日 ← ①

	運用月	入居者数（人） ②	稼働率（入居者/定員）	稼働率（入居者/見込み）
1	2025年　1月		0.0%	0.0%
2	2025年　2月		0.0%	0.0%
3	2025年　3月		0.0%	0.0%
4	2025年　4月	7	70.0%	70.0%
5	2025年　5月	8	80.0%	80.0%
6	2025年　6月	8	80.0%	80.0%
7	2025年　7月	8	80.0%	80.0%
8	2025年　8月	9	90.0%	90.0%
9	2025年　9月	9	90.0%	90.0%
10	2025年 10月	10	100.0%	100.0%
11	2025年 11月	10	100.0%	100.0%
12	2025年 12月	10	100.0%	100.0%
月平均		8.8	0.9	0.9

③

定　員			
	男性		名
	女性	10	名
	合計	10	名
入居見込み		10	名

☆2024年12月現在で定員割れのある場合は、その理由をご記入ください。

④

★利用者の障がいの種類と障害程度区分、年齢区分について教えてください。（複数選択可）

＜障害種類＞	＜障害程度区分＞	＜年齢区分＞
☑ 身体障害	□ 非該当	□ 10代
☑ 知的障害	□ 区分1	☑ 20代
□ 精神障害	☑ 区分2	☑ 30代
	☑ 区分3	☑ 40代
	☑ 区分4	☑ 50代
	☑ 区分5	□ 60代以上
	□ 区分6	

★施設の利用料金等について教えてください。

家賃	35,000	円
食費	23,000	円
光熱水費	8,000	円
その他※	1,500	円
合計	67,500	円

・家賃に特定障害者特別給付を　◉ 含む　○ 含まない

※その他の内訳及び特記事項：日用品費

※利用者の毎月の収入について、差しさわりのない範囲で教えてください。

公的年金等	80,000	円		
公的手当等	10,000	円		
工賃等の賃金	5,000	円	～	70,000 円
その他		円		

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書（3／5）　4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。
〇採点基準については、2024年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

			採点
(1) 受益者（ニーズ）		この地域には、グループホームが少なく、慣れ親しんだ地域で生活するのが難しかったが、今回新たにグループホームを開設したことで、地域で暮らしたいという障がい者のニーズに応えることができた。 また、交通の利便性のよい場所に建てることができたことにより、より生活しやすいグループホームにすることができた。	4
(2) 事業内容	事業の新規性 または 継続の必要性	これまで当法人では男性専用及び男女用のグループホームのみを所有していたが、今回女性専用のグループホームを開設できた。この地域で初めての女性専用のグループホームであり、よりプライバシーに配慮した施設になり、これまで以上に利用者に安心して生活してもらうことができるようになった。	4
	事業の発展性	障がい者本人が地域で生活でき、近所の方とのふれあいをもつことで地域住民の認識も高まり、少しずつではあるが障がい者に対する理解が進んできたと思われる。	4

(3) 達成目標	事業の成果・波及	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
	※自己評価1回目から変化があった場合にご記入ください。	入居者数 10人	100%	利用開始後すぐは7～8名の入居者であったが、その後見学者等も複数あり、利用開始半年後には定員である10名の入居者となった。	4

【記入にあたっての注意点】

◆整理番号、**補助事業者名（法人名）**を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築したグループホームの施設名を記入してください。また、その施設の所在地（住所）も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築したグループホームの建物の構造（例：鉄筋コンクリート造2階建て　等）を記入してください。
「延床面積」欄には、今回建築したグループホームの延べ面積（㎡）を記入してください。
（※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。）

◆あてはまるものをひとつ選択してください。

◆今回建築したグループホームの特長（特に優れている点やアピールポイントなど）を記入してください。

◆①　今回建築したグループホームの利用を開始した日にちを記入してください。

◆②　今回建築したグループホームに入居している人数を記入してください。
※稼働率（入居者／定員、入居者／見込み）については自動計算となりますので入力は不要です。

◆③　今回建築したグループホームの定員数を男性・女性それぞれ記入してください（合計は自動計算となります）。
また、「入居見込み欄」には、定員合計数のうち何名の入居が見込まれているか、その数を記入してください。

◆④　2025年12月時点で、入居者が定員より少ない場合は、その理由を記入してください。
また、今後入居者数が増える予定がある場合は、その詳細も記入してください。

◆今回建築したグループホームの利用料金について記入してください（合計金額は自動計算になりますので記入不要です）。
「その他※」がある場合は、その詳細等を右側の「※その他内訳及び特記事項」に記入してください。

◆どちらかあてはまるほうを選択してください。

◆今回建築したグループホームの利用者の毎月の収入について、**差しさわりのない範囲**で記入してください。
差しさわりがある場合は記入不要です。

◆複数選択可です。施設の利用者として**あてはまるものすべて**にチェックをしてください。

◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書（3／5）の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

◆（3）達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後（現在）の状況について記入してください。
!! 注意 !!　達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書（3／5）記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付要約書添付の『事前計画／自己評価書（2／5） 3. 補助事業実施の必要性（1）補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

今回のグループホーム開設により、一定数の入居待機者を受け入れることができ、特にひとり親家庭などの支援は概ね達成できたと思われる。また、住み慣れた地域でより長く生活できるようにするための拠点となることができた。居住の場と日中活動の支援を合わせ、入居者一人ひとりが、地域で豊かな生活を送り始めたと同時に、法人全体、広くは地域全体で温かく見守りながら、彼女らを支えていける仕組みづくりを徐々に築き始めることができた。今後も地域の人々の理解が一層進み、より障がい者が地域で生活しやすくなるような活動を行っていきたい。

◆事前計画／自己評価書（2／5）の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

3. この施設に対する施設利用者及びご家族の声をご記入ください。

・入浴と食事、門限など時間のルールがあることで生活リズムが保てている。
・職員の方も話を聞いてくれ、安心して暮らすことができている。
・入居した頃は掃除が苦手だったが、世話人の方にやり方を教わりながら一緒にやったことで出来るようになった。
・家庭ではどうしても手が離せない時や緊急時などは特に負担が大きかったが、グループホームに住むようになったことで家族の負担も減り、本人も仲間と一緒に安心して過ごすことができているようでよかった。

◆今回建築したグループホームに入居しての感想など、施設利用者の声及び施設利用者ご家族の声を記入してください。

4.この施設に対する施設職員の声をご記入ください。

・設備も使いやすく、利用者だけでなくスタッフも支援しやすい環境で助かっている。
・これまで以上に地域の方など周囲の障がい者に対する理解が得られるようになったと感じる。
・働きやすく、利用者の方とも楽しく過ごせている。

◆今回建築したグループホームに関わる施設職員の声を記入してください。

5. グループホーム整備に関する計画を教えてください。

☆この施設の整備後に、さらにグループホームを建築する予定はありますか。	◉ ある	○ ない
☆地域に別の事業者の運営している同様の障害者グループホームはありますか。	○ ある	◉ ない

☆上記1.「建築した施設の形態」において、「既存障害者グループホームの老朽化のため建て替え」または「複数棟目のグループホーム」を選択した場合にご回答ください。

①現在、所有しているグループホーム　3　棟

②この施設を整備中または整備後に新たにグループホームを建築しましたか。　○ 建築した　◉ 建築していない

◆ それぞれあてはまるほうを選択してください。

◆「1. JKA補助事業　建築について」の「建築した施設の形態」において、「複数棟目」または「建て替え」を選択した場合、今回建築したグループホームを含む、法人全体で現在所有しているグループホームの数を記入してください。

6. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください（自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミなどの取材を受けた実績等があれば、ご記入ください）。

当法人ホームページに施設の詳細をJKA補助事業の旨、掲載した。
〇〇新聞（2024年〇月〇日）に掲載された。

◆今回建築したグループホームについて、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

7. この施設について客観的な立場から論評できる人（法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等）のコメントを自由にご記入ください（できるだけ2名以上の論評者及びコメントを記載してください）。

今回のグループホーム開設により、障がい者自身が住み慣れた地域で安心して暮らせる住まいを確保するとともに、女性専用のグループホームということで倫理面を満たすなど、優れた障がい者福祉サービスの提供を実現できる施設となっている。また、障がい者に対するグループホームが不足し、入居待ちがある現状を少しでも解消し、地域のニーズに応える施設として、今後も連携を深め、障がい者福祉を推進していきたい。（〇〇市　福祉支援課）

利用者が地域の活動（町内で行う防災行事や清掃活動など）にも積極的に参加している。また、地域住民との交流会をグループホームで実施し、相互理解を図っているなど大いに評価できる。（法人　監事）

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等のコメントを記入してください。

8. 障害者グループホームを取り巻く状況や課題をお聞かせください。

定員分すべて入居となった後も、入居希望の問い合わせがあるなど、地域からのニーズも高く、依然として施設が不足している状態が続いていると思われる。このニーズに応えるためには新たに施設を開設する必要があるが、土地や建築費用などの課題も多い。
重度の方を対象としたグループホームを希望する声もある。
障がい者が親元を離れて自立した生活を営むには、地域住民の理解と支援が必要であるため、相互理解を深めることが重要となる。

◆グループホームの現状や課題、また業界等での問題点や課題等を記入してください。
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

9. その他、施設に関する特記事項、上記1～8についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入ください。

グループホームに対するニーズは高いが、法人単独での整備が困難な状況であるため、今後もグループホームに対する補助を続けてほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。　　p2024hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【建築（障害者グループホーム）】